

Non-Admin ActiveX® コントロール:
Windows® Internet Explorer® 8
Beta 1 for Developers



Web 作業の操作性を向上

2008 年 3 月

詳細の問い合わせ先 (報道関係者専用):
Rapid Response Team
Waggener Edstrom Worldwide
(503) 443-7070
rrt@waggeneredstrom.com

このドキュメントに記載された内容は、ドキュメント発行時点での記載内容に関する米国 Microsoft Corporation の見解を示すものです。マイクロソフトが市場状況の変化に対応する必要性から、このドキュメントの記載内容をマイクロソフトによる確約とみなすことはできません。また、マイクロソフトは、ドキュメント発行後、いかなる記載内容の正確性についても保証いたしません。

このドキュメントに記載された内容は情報の提供のみを目的としており、明示、黙示または法律の規定にかかわらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。

お客様は、適用されるあらゆる著作権法を遵守する責任を負います。このドキュメントのいかなる部分も、米国 Microsoft Corporation の書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、どのような形態であっても、複製または譲渡することは禁じられています。ここでいう形態とは、複写や記録など、電子的な、または物理的なすべての手段を含みます。ただしこれは、著作権法上のお客様の権利を制限するものではありません。

Microsoft Corporation (以下「マイクロソフト」といいます) は、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、出願中の特許申請、商標、著作権、またはその他の無体財産権を有する場合があります。別途マイクロソフトのライセンス契約上に明示の規定のない限り、このドキュメントはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

別途記載されていない場合、このソフトウェアおよび関連するドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名などとは一切関係ありません。

© 2008 Microsoft Corp. All rights reserved.

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、ActiveX、Active Directory、Internet Explorer、Internet Explorer ロゴ、MSN、MSN ロゴ、およびSilverlight は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

このドキュメントに記載される実在の会社および製品は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

概要

Windows Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers では、既存および将来の Microsoft® ActiveX コントロールのほとんどでコントロール インストール プロセスに管理者が関与する必要がなくなりました。これにより、前のバージョンに関して顧客から報告された、コントロール管理が最適でない場合の問題に対処できます。Windows Vista® を使用する場合は、管理者が関与することなく標準ユーザーは自己のユーザー プロファイルに ActiveX コントロールをインストールできるようになりました。悪意のある ActiveX コントロールをユーザーがインストールした場合でも、システム自体は影響を受けません。ユーザー プロファイルのみがインストールの影響を受けるため、危険にさらされるリスクとコストが大幅に低減されます。この機能は Windows Vista 固有のものであるため、Windows XP では使用できません。ActiveX をインストールした場合の利点は、以下のとおりです。

- 既存の ActiveX コントロールのほとんどは、この機能の利点を得るために書き換える必要はありません。唯一の変更はリパッケージです。
- この機能は、従来の ActiveX コントロールのインストール動作には影響を与えません。

互換性: Internet Explorer 7 からの動作変更

Internet Explorer 8 より前のバージョンでは、拡張は CAB ファイル (MSN® Games など) や MSI インストール (Microsoft Silverlight™ 1.0 など) などさまざまなメカニズムを介して展開されました。これらのファイルには登録手順のための INF ファイルおよびバイナリの実行可能ファイル (DLL/EXE) が含まれます。インストールは、Web ページの HTML マークアップに含まれる <OBJECT> タグを使用して処理されます。

Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers で行われた変更によって、従来の ActiveX のインストール動作は影響を受けません。ActiveX のパッケージ化方法に関する変更はありません。パッケージ化された ActiveX は従来どおり .inf ファイルとして .cab ファイルに格納されています。変更内容は、.inf ファイル内の追加指示文として提供されます。これにより開発者は新しい non-admin インストール機能を使用するかどうかを指定できます。

機能の詳細

Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers の改善点

Internet Explorer 7 以前のバージョンでは、すべての ActiveX インストールにはユーザーの管理者権限が必要でした。Windows Vista で ユーザーアカウント制御 (UAC: User Account Control) を使用する場合、コントロールのインストールを試みると UAC ダイアログが表示されます。Windows XP および Windows Vista では、標準ユーザーが自ら ActiveX をインストールすることはできません。しかし、現在 Current User ハイブで登録された ActiveX は、ユーザーの権限レベル コンテキスト内の Internet Explorer によって完全にサポートされています。

この機能の概要

ユーザーの場合

- 標準ユーザー権限 (以上) でログオンしたユーザーは、Web から ActiveX コントロールをインストールできるようになりました。
- ユーザー モードでインストールする場合、一般的なエンドツーエンドの ActiveX インストールシナリオで UAC ダイアログは表示されません。
- 管理者のアクセス権限を持つユーザーは、インストール実行時に不必要に複雑な処理を行わずに、ユーザー別またはマシン全体の ActiveX インストールのいずれかを選択できるようになりました。

IT 技術者の場合

- IT 技術者はどの ActiveX コントロールをインストールするかを管理するポリシーを設定できます。
- IT 技術者は、ActiveX インストーラーサービス (AXIS) の使用時に Internet Explorer によって ActiveX コントロールがインストールされないようにブロックできます。これにより、管理者は ActiveX のインストールを完全にコントロールすることができ、標準ユーザーによって ActiveX コントロールがインストールされたり、すでにインストールされている ActiveX コントロールが変更されたりするのを防ぎます。

開発者の場合

- ほとんどの場合、Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers の non-admin インストールの変更への対応は、変更済み .inf ファイルで現在のコントロールをリパッケージするのと同じくらい簡単です。

Non-Admin インストール パッケージの展開

アドオン開発者は、ActiveX インストールの .cab ファイルにある .inf ファイルに特定の設定を追加することにより、以下の新しいオプションを有効にできます。

新たに追加された [Deployment] という名前のセクションに、以下のフラグを追加できます。

フラグ	パラメータ
RegistrationScope	オプション machine: [既定] ActiveX コントロールはマシン スコープ (すべてのユーザー) でのインストールをサポートします。 user: ActiveX コントロールは、現在のユーザーに対してのみインストールをサポートします。 両方のスコープをサポートすることができます。その場合、各スコープを文字「 」で区切る必要があります。

開発者は、インストール対象の各バイナリに対して以下のフラグを指定することもできます。

フラグ	パラメータ
RedirectToHKCU	<p>オプションです。このフラグは DLL セクションスコープで設定します。</p> <p>no: [既定] レジストリのリダイレクトは必要ありません。</p> <p>yes: DllRegisterServer および DllUnregisterServer の呼び出し時に、事前定義されたキー HKEY_CLASSES_ROOT および HKEY_LOCAL_MACHINE による上書きを可能にします。これは、従来の ActiveX の適切なインストールを支援するためのベストエフォート機能です。</p> <p>制約</p> <ul style="list-style-type: none"> このリダイレクトは、ローカルサーバの実行可能ファイルではなく、Inproc Server DLL に対してのみ使用可能です。 開発者向け Internet Explorer 8 Beta 1 では、カスタムのレジストリ設定の ActiveX コントロールはサポートされません。たとえば、あるユーザーが HKLM\Software\<Company Name> への書き込みを行う必要がある場合は、インストール時にリダイレクトが行われないため、コントロールはインストール時に失敗します。

新しい .inf ファイル モデルのサンプルについては、以下の「コード サンプル」を参照してください。

AXIS 依存のインストール

AXIS が存在する場合、ActiveX コントロールはこのサービスを通じてインストールされます。AXIS はシステム権限で実行されるため、現在のユーザー アカウントには関連付けられません。ActiveX コントロールが **HKCU** レジストリのサブツリーで登録を実行しようとする、実際の登録は既定 ノードに書き込まれ、現在のユーザーはこれらの COM オブジェクトにアクセスできません。

これは、Internet Explorer 8 では、ユーザー インストール スコープのみを認識する ActiveX コントロールが AXIS にアクセスできないことを意味します。その場合は、システム ポリシーによって、ユーザーによるコントロールのインストールが成功するか、失敗するかが決まります。また、現在のユーザーに対してのみインストールする ActiveX コントロールは、従来どおり AXIS を通過するため、Internet Explorer 7 でのインストールは中断されます。

AXIS との互換性を維持するために、**ieAxInstaller** COM インターフェイスは一切変更されていません。インストール スコープおよび、ユーザー権限レベルに起因する失敗を回避するためのサンプルについては「コード サンプル」を参照してください。

コード サンプル

例: Non-Admin インストール用サンプル .inf ファイル

開発者は ActiveX パッケージに含まれる以下の .inf ファイルを使用して、Internet Explorer による User レジストリ ハイブでの ActiveX コントロールのインストールを許可することができます (太字のコードは、ユーザーによるリダイレクトを可能にするための、前のバージョンからの変更を示します)。

```
[version]
  signature="$CHICAGO$"
  AdvancedINF=2.0

[Add.Code]
  time.ocx=time.ocx
  msvcrt.dll=msvcrt.dll

[Deployment]
  InstallScope=user

[time.ocx]
  file-win32-x86=thiscab
  clsid={DCF0768D-BA7A-101A-B57A-0000C0C3ED5F}
  FileVersion=1,0,0,0
  RegisterServer=yes

[contoso.dll]
  file-win32-x86=thiscab
  clsid={ABC01234-BA7A-101A-B57A-0000C0C3EFF0}
  FileVersion=4,20,0,6164
  RegisterServer=yes
  RedirectToHKCU=yes
```

例: AXIS 依存コントロールのインストール スコープの決定

ActiveX では複数のインストール スコープがサポートされるため、どのスコープを使用するかを ActiveX コントロールに通知する方法が設定されています。Urlmon.dll ファイルによってその機能がエクスポートされます。提供される機能は、以下のとおりです。

```
HRESULT IEInstallScope(LPDWORD pwdScope);
```